

05/06・豪首相 2 期目 21 年ぶり 総選挙、野党の「トランプ流」反感

- ・ EU、研究者誘致 820 億円 「米国離れ」の人材念頭
- ・ NY 原油一時 55 ドル台 増産加速決定で 4 年ぶり安値圏
- ・ 輸入映画に 100%関税 トランプ氏、USTR に指示 米産業の保護訴え
- ・ 日中韓 ASEAN 財相会議（ミラノ）「保護主義、経済分断招く」声明

05/07・インド、パキスタン領攻撃 「テロ組織拠点」標的 多数死者

- ・ 米中、週内に貿易協議 スイスで 財務長官と副首相ら
- ・ 中国太陽光、初の赤字 主要 7 社 デフレ輸出、国際摩擦 増産投資、裏目に
- ・ 独首相にメルツ氏選出 戦後初の再投票 連立基盤の弱さ露呈
- ・ 米貿易赤字最大に 3 月、駆け込み輸入加速

05/08・米金利、3 会合据え置き FRB 関税の影響見極め 声明「さらに不確実」 <1>

- ・ プーチン氏は「戦争犯罪人」 米財務長官 対ロ強硬へ踏み込む
- ・ 米中、台湾問題「議論せず」 バンス氏、貿易に集中
- ・ 韓台通貨高、ドル離れ映す 米関税政策の混乱響く 円相場の行方占う <2>

05/09・米英、関税交渉で初合意 輸入枠 10 万台 英国車 10%に下げ <3>

成果演出の対英交渉 「他国と同じ取引しない」 日本、追従難しく

- ・ 動けぬ FRB「今は忍耐」物価・失業、同時上昇を警戒 関税「不確実性さらに」
トランプ氏、FRB 議長は「愚か者」 利下げ遅いと批判
- ・ EU、対米報復 16 兆円 関税交渉決裂なら 車や航空機対象
- ・ 中国製流入、日・EU で対処 EV や太陽光パネル過剰生産 米関税の余波警戒
- ・ 実質賃金 3 月 2.1%減 物価高騰に追いつかず
- ・ 米「30 日の無条件停戦を」 トランプ氏、ロシアなどに促す

05/10・中国、関税で対米輸出急減 4 月 21%減、駆け込み需要一転 外資の投資にも重荷

- ・ 対中関税「80%がよい」 トランプ氏、協議前に投稿
- ・ メキシコ、車輸出 4 月 11%減 米関税政策警戒で手控え

05/11・インド・パキスタン停戦合意 両政府発表 トランプ氏「米が仲介」

- ・ プーチン氏、直接交渉提案 ウクライナと 15 日トルコで
ゼレンスキー氏「トルコで待つ」 停戦交渉に参加へ

05/12・経常黒字、最高の 30.3 兆円 昨年度 海外からの配当押し上げ <4>

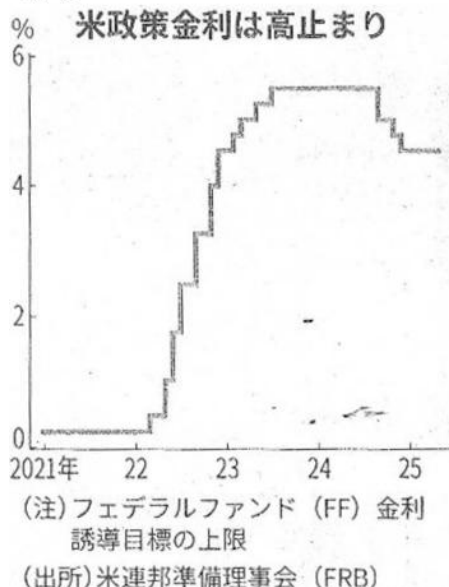
05/13・米中双方、関税 115%下げ 90 日間 米 30%、中国 10%に <5>

継続協議で合意 NY 株急伸 1160 ドル高 米中対立の懸念緩和 関税前水準超す

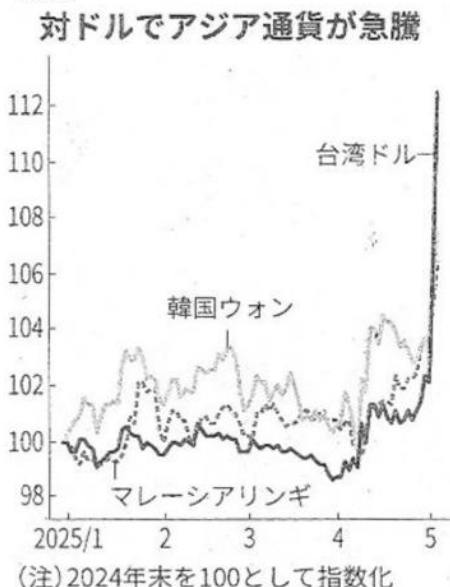
- ・ 訪日観光 経常黒字の柱 昨年度旅行は 58%増 初の特許使用料超え
- ・ 薬価引き下げへ大統領令 トランプ氏「59%下がる」
- ・ ロシア、無条件停戦応じず 対ウクライナ「戦闘継続」 直接交渉は不透明

- 05/14・米消費者物価 2.3%上昇 4月、関税影響は限定的か
- ・米家計債務最高 2700 兆円 1~3月 学生ローン延滞急伸
 - ・AI半導体 輸出規制撤回 米、中東など関係配慮 代替案を公表へ
 - ・米、シリア制裁解除表明 トランプ氏、暫定政権支持 <6>
中東安定へ布石 イスラエル・アラブ国交正常化 サウジに参画促す
 - ・トランプ氏、対中関税 115%下げ 習氏の「備え」米押し切る <7>
- 05/15・停戦交渉、プーチン氏欠席へ トランプ氏も不参加 ゼレンスキー氏トルコ入り
- ・「ハマスなど支援停止条件」 トランプ氏 イランとの核合意巡り
- 05/16・外貨準備 進むドル離れ 昨年末 57.8%で最低 <8>
- 「無国籍」の金積み増し 円、金利ある世界で再評価
 - ・サウジ、原油増産かじ 900万バレル回復 シェア重視、価格下押しも
原油急落、一時4%安 先物 「米がイラン制裁緩和」観測
 - ・GDP1~3月 0.7%減 実質年率 4期ぶりマイナス 個人消費伸びず
 - ・24年度 GDP0.8%増 4年連続プラス 実質 559 兆円 名目は初の 600 兆円超え
- 05/17・ウクライナ協議「継続確認」 トランプ氏「プーチン氏と早期会談」
- ・ウォルマート値上げへ 関税反映、試される米消費
小売売上高 4月 0.1%増 駆け込み一服
 - ・主要国以外「関税交渉せず」トランプ氏 一方的に税率通知へ 人員整わず一括処理
 - ・米、最上位から転落 ムーディーズ格付け 政府債務増加で <9>
- 05/18・米資産の信認揺らぐ 米国債格下げ 金利再び上昇圧力 中印は保有額減少<10>
- 05/19・米トリプル安再燃を警戒 格下げ、ドル売り圧力強まる 日本株への波及も
- ・トランプ減税、7月に照準 財政悪化 760 兆円試算 <11>
 - ・ウォルマートを批判 トランプ氏 関税理由の値上げに
- 05/20・米ロ首脳、和平進展なし プーチン氏、30日間停戦難色 電話協議 2時間
- ・英 EU が防衛協定 首脳会談 米の自国第一主義で接近 <12>
 - ・ルーマニア大統領 親 EU 派 決選投票で逆転勝利 極右台頭に危機感
 - ・米関税、東南ア成長下振れ タイやベトナム 1ポイント 米中緩和でも打撃
 - ・「関税、消費者に転嫁も」 米財務長官 ウォルマート値上げで

<1>



<2>



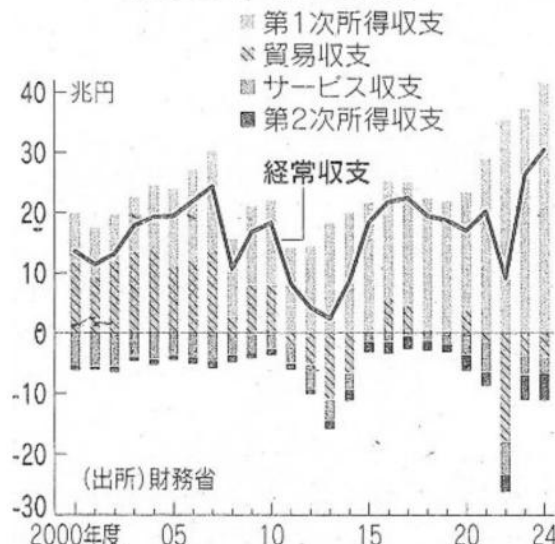
<3>

日本と英国では状況が異なる

英国		日本
米が119億ドルの貿易黒字	米国との貿易	米が685億ドルの貿易赤字
10万台高級車が中心	自動車の対米輸出	137万台大衆車が中心
20年に米英FTA交渉開始も、バイデン政権下で棚上げ	米国との既存の協定	20年に日米の貿易協定・デジタル貿易協定が発効
中国企業傘下のブリティッシュ・スチールを4月に英政府管理下に	鉄鋼	日本製鉄が世界4位。USスチール買収目指す

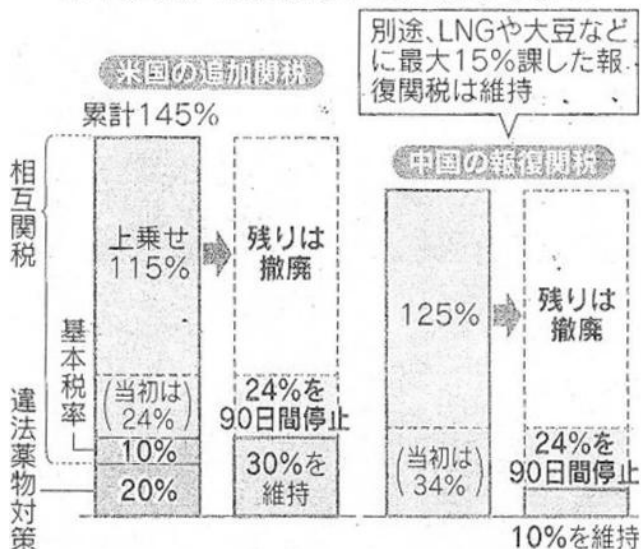
<4>

経常黒字は過去最高に



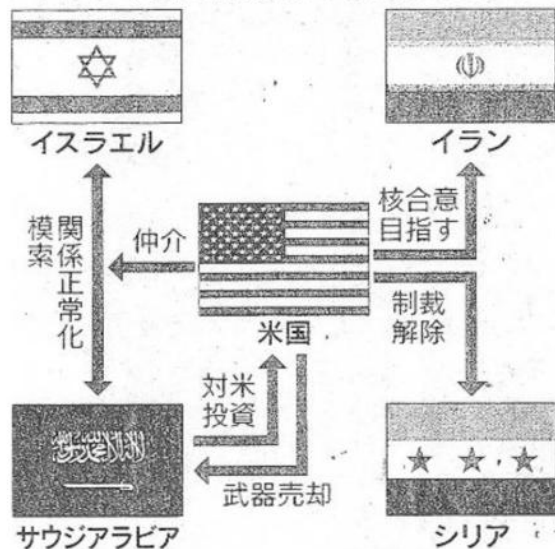
<5>

米中が互いに関税を115%引き下げる



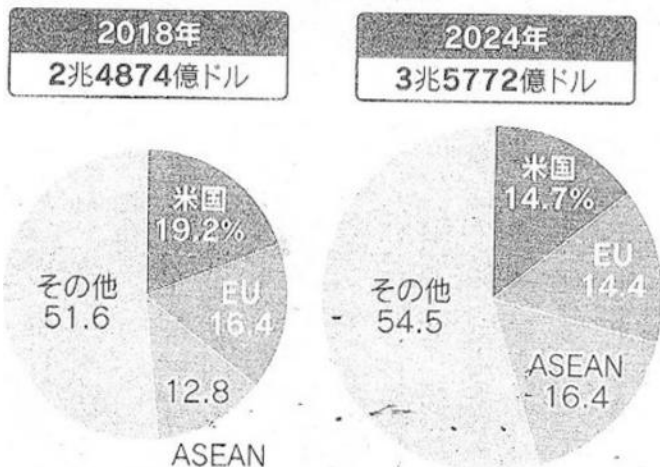
<6>

トランプ米大統領は中東安定を急ぐ



<7>

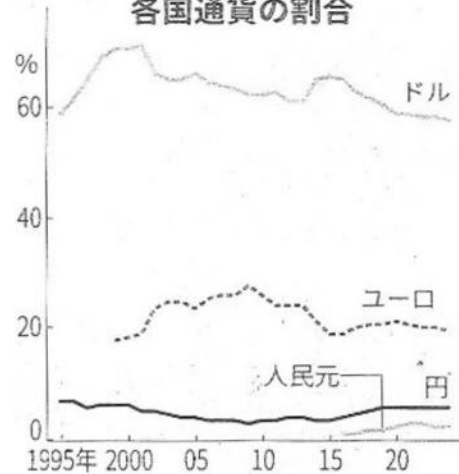
中国の輸出総額



(出所) 中国税関統計

<8>

世界の外貨準備高に占める各国通貨の割合



(注) 年末時点。出所はIMF「外貨準備の構成統計 (COFER)」

<9>

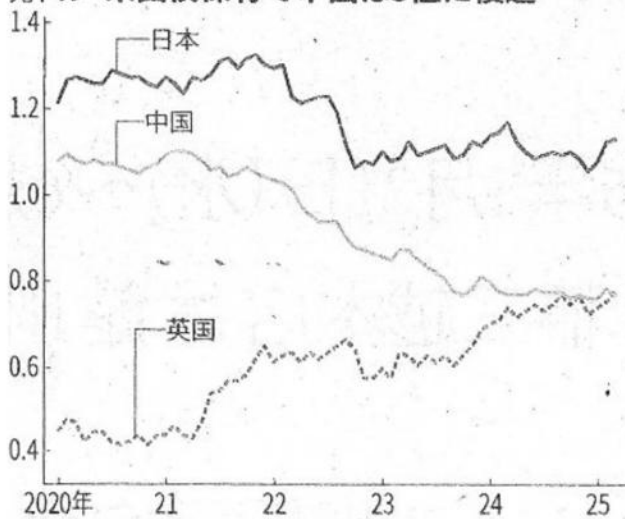
主要7カ国の信用格付け状況

	ムーディーズ	S&P	フィッチ
米国	Aa1	AA+	AA+
ドイツ	Aaa	AAA	AAA
カナダ	Aaa	AAA	AA+
英国	Aa3	AA	AA-
フランス	Aa3	AA-	AA-
日本	A1	A+	A
イタリア	Baa3	BBB+	BBB

(出所) LSEG

<10>

兆ドル 米国債保有で中国は3位に後退



(出所) 米財務省

<11>

下院案はトランプ減税の恒久化が目玉に

10年間で4兆ドルの減税
2025年末期限の個人所得減税恒久化 (最高税率37%)
チップ収入と残業代に28年まで免税措置
米国車のローン金利払いを控除対象に (最大1万ドル、28年まで)
子供税額控除を28年まで2500ドルに
州・地方税 (SALT) の控除上限を1万ドルから3万ドルに引き上げ
歳出削減は1.5兆ドル規模に
電気自動車や住宅のグリーン税額控除廃止
クリーン電力への投資支援を段階的に廃止
政府債務の法定上限を4兆ドル引き上げ

<12>

英EU首脳合意の主な内容

防衛・安全保障協定を締結。EUの資金支援枠組みに英企業参画へ
検疫協定締結で食品輸出入時の一部検査を撤廃
双方の排出量取引制度を連携
英国国民がEUの空港で電子ゲート使用可能に
ワーキングホリデー制度導入
英近海のEU加盟国の漁獲枠を12年延長